

09/872, 054

Requested Patent: JP7230396A

Title:

MUTUAL CONSTITUTION SYSTEM FOR DIFFERENT KINDS OF FILE SYSTEM FORMS ;

Abstracted Patent: JP7230396 ;

Publication Date: 1995-08-29 ;

Inventor(s): YAMAUCHI HIDEAKI ;

Applicant(s): NIPPON DENKI MICOM TECHNOL KK ;

Application Number: JP19940021726 19940221 ;

Priority Number(s): ;

IPC Classification: G06F12/00 ;

Equivalents:

ABSTRACT:

PURPOSE: To attain the correspondence between different file system forms by constituting structures of different file system forms on the file system of an arbitrary system as files at the time of sharing resources between systems different by file system forms.

CONSTITUTION: When a system issues an operation instruction to the file system, an instruction fetch means 11 steals this operation instruction. An instruction analysis means 12 analyses the instruction fetched by the instruction fetch means, and an instruction conversion means 13 converts this instruction to an instruction as file operation in accordance with an instruction conversion rule 14. An instruction execution means 15 executes the instruction as file operation converted by the instruction conversion means.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-230396

(43)公開日 平成7年(1995)8月29日

(51)Int.Cl.⁶

G 0 6 F 12/00

識別記号

府内整理番号

F I

技術表示箇所

5 1 1

7608-5B

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平6-21726

(22)出願日 平成6年(1994)2月21日

(71)出願人 000232151

日本電気マイコンテクノロジー株式会社
東京都港区芝浦2丁目13番7号

(72)発明者 山内 秀明

東京都港区芝浦二丁目13番7号 日本電気
マイコンテクノロジー株式会社内

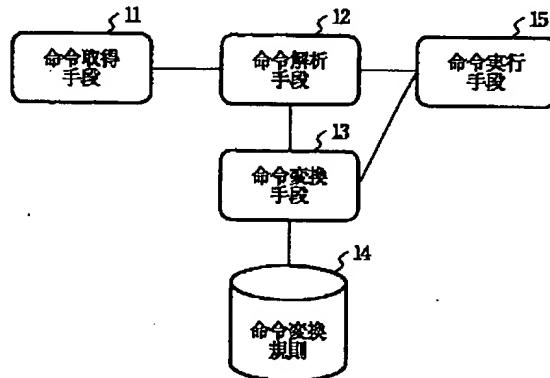
(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54)【発明の名称】 異種ファイルシステム形式の相互構築方式

(57)【要約】

【目的】ファイルシステム形式の異なるシステム間での資源の共有において、任意のシステムのファイルシステム上に異なるファイルシステム形式の構造をファイルとして構築し、相互の形式を対応付ける。

【構成】システムがファイルシステムへの操作命令を発行すると、命令取得手段11がファイルシステムへの操作命令を横取りする。命令解析手段12は命令取得手段が取得した命令がどのような命令であるかを解析し、命令変換手段13が、その命令を命令変換規則14に従つてファイル操作としての命令に変換する。命令実行手段15は、命令変換手段によって変換されたファイル操作としての命令を実行する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】ファイルシステム形式の異なるシステム間での資源の共有において、システムが発行したファイルシステムへの操作命令を取得する命令取得手段、取得した命令を解析する命令解析手段、解析した命令を命令変換規則に従って他システムのファイル操作命令に変換する命令変換手段、他システム上に構築されたファイルを操作する命令実行手段とを備えることを特徴とする異種ファイルシステム形式の相互構築方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は異種ファイルシステム形式の相互構築方式に関し、特にファイルシステム形式の異なるシステム間での資源の共有において、任意のファイルシステム上に異なった形式のファイルシステムを構築する異種ファイルシステム形式の相互構築方式に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、ファイルシステム形式の異なるシステムが同一資源を共有する場合、共有する資源を分割し、分割単位ごとに各々のファイルシステムを構築していく。また、一つのシステムが資源を独占している状況で、他のシステムがその資源を共有しようとする場合、すでに構築されているファイルシステムを再構築していく。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述した従来の構築方式では、資源を分割して利用していたため、綿密な資源利用計画のものに資源を分割しなければ有効に資源を利用することができない、また、あらたに資源の共有を行なう場合には、ファイルシステムの再構築といった手間がかかるという問題がある。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明の異種ファイルシステム形式の相互構築方式は、ファイルシステム形式の異なるシステム間での資源の共有において、システムが発行したファイルシステムへの操作命令を取得する命令取得手段、取得した命令を解析する命令解析手段、解析した命令を命令変換規則に従って他システムのファイル操作命令に変換する命令変換手段、他システム上に構築されたファイルを操作する命令実行手段とを備える。

【0005】

【実施例】次に、本発明の実施例について図面を参照して説明する。

【0006】図1は本発明の異種ファイルシステム形式の相互構築方式の一実施例を示すブロック図である。

2

【0007】本実施例の異種ファイルシステム形式の相互構築方式は、図1に示すように、システムがファイルシステムを操作するために発行した命令を取得する命令取得手段11、命令を解析するための命令解析手段12、命令をファイル操作としての命令に変換するための命令変換手段13、命令を変換する規則を定めた命令変換規則14、変換した命令をファイルに対して実行する命令実行手段15から構成される。

【0008】図2は、本実施例の異種ファイルシステム形式の相互構築方式における動作の一例を示す流れ図である。図2を参照しながら処理を説明する。

【0009】システムがファイルシステムを操作するために発行する命令を、命令取得手段11が取得し(ステップ21)、命令解析手段12が、取得命令がどのファイルシステムへの命令であるかを解析し(ステップ22)、解析したファイルシステムがどのファイルシステム上に構築されているかを判断することによって命令変換規則14を選択する(ステップ23)。次に命令変換手段13が、解析した命令を命令変換規則14に従ってファイル操作としての命令に変換し(ステップ24)、命令実行手段15が変換された命令を実行する(ステップ25)。

【0010】このようにして他形式のファイルシステム上のファイルを操作することができる。

【0011】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の異種ファイルシステム形式の相互構築方式は、あらたに一つの資源をファイルシステムの異なるシステムが共有する場合、一つの資源に複数形式のファイルシステムを構築することなく、資源を有効に活用できる。また、すでにファイルシステムが構築されている資源をあらたに共有しようとする場合、変換規則を登録することによってすでに構築されているファイルシステムを再構築する負担をなくす効果がある。という効果を有している。

【図面の簡単な説明】

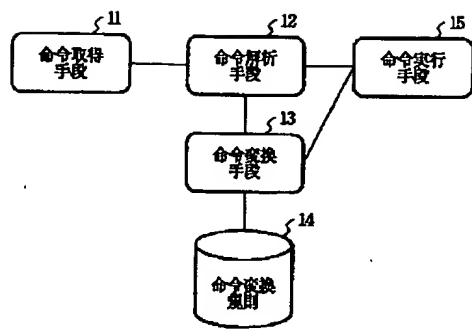
【図1】本発明の異種ファイルシステム形式の相互構築方式の一実施例を示すブロック図である。

【図2】本実施例の異種ファイルシステム形式の相互構築方式における動作の一例を示す流れ図である。

【符号の説明】

- | | |
|----|--------|
| 11 | 命令取得手段 |
| 12 | 命令解析手段 |
| 13 | 命令変換手段 |
| 14 | 命令変換規則 |
| 15 | 命令実行手段 |

【図1】



【図2】

